

議会 だより

令和4年 第4回定例会

発行 田原本町議会

編集 議会編集委員会

令和4年田原本町議会「第4回定例会」が12月1日から12日まで12日間の日程で開かれました。開会日には森町長が物価高騰にかかる生活者支援補正等の議案について説明。会期中、各議案について慎重に審議が行われました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○町長の専決事項の指定についての報告

公用車事故に係る損害賠償額の決定について（2件／保険で対応）

《承認・可決した議案》

○令和4年度田原本町一般会計補正予算（第8号）の専決処分の報告（全員賛成）

補正予算額は1億7863万7000円の増額。民生費で住民税非課税世帯等に対して1世帯あたり5万円

の現金を給付する非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業にかかる経費。

歳入補正は国庫支出金。

○令和4年度田原本町一般会計補正予算（第9号）の専決処分の報告（全員賛成）

補正予算額は98万3000円の増額。教育費で町内中学校に看護師を配置することに伴う経費。

歳入補正は国庫支出金及び繰越金。○令和4年度田原本町一般会計補正予算（第10号）（全員賛成）

補正予算額は3404万2000円の増額で、職員人件費5877万円、7000円の減額を含んだ補正。人件費以外の内容は、総務費・衛生費・教育費の電気料金を増額するもの。

また、物価高騰にかかる生活者支援として、民生費で「困窮者世帯等へのフードレスキュー、見守り事業」の充実のための経費及び生活保護受給世帯に対して1世帯あたり1万円を支給する臨時特別給付金給付事業にかかる経費。衛生費で指定ごみ袋無料配布にかかる経費。生活者支援としての歳入補正で保育所保護者負担金及び学童保育料3ヵ月分免除、小中学校及び幼稚園の給食費4ヵ月免除等を減額するもの。

また、このほかの事業は、総務費で知事及び県議会議員選挙に必要な令和4年度執行分の経費等。民生費で人件費補正に伴う介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の繰出金の増額等。衛生費で磯城休日応急診療所の年末年始発熱外来にかかる経費等。教育費で小中学校のトイレ清掃にかかる経費、園児の送迎車への置き去り防止のため安全装置にかかる経費。

歳入補正は分担金及び負担金、使料及び手数料、国庫支出金、県支出金、繰越金及び諸収入。

債務負担行為の補正は、公共施設のあり方検討支援業務委託料で300万円、知事及び県議会議員選挙事業で228万8000円、老人福祉センター指定管理料で8250万円（3年分）、田原本駅前広場指定管理料で600万円（5年分）、外国語指導助手派遣業務委託事業で2866万2000円（3年分）、唐古・鍵遺跡史跡公園指定管理料で2億130万円（5年分）をそれぞれの限度額と定めるもの。

○令和4年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（全員賛成）

補正予算額は43万円の増額で、交付金の事業費分の確定に伴う返還金。歳入補正は繰越金。

《採択とした意見書》

意見書	提出議員
带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書（全員賛成）	古立憲昭議員

《不採択とした意見書》

意見書	提出議員
「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書（賛成少数）	岡本充弘議員
最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書（賛成少数）	吉田容工議員
「健康保険証原則廃止」の撤回を求める意見書（賛成少数）	吉田容工議員

○令和4年度田原本町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）

補正予算額は407万3000円で、職員人件費の増額。

歳入補正は繰入金。

○令和4年度田原本町介護保険特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）

補正予算額は6909万5000円で、職員人件費の増額を含んだ補正。人件費以外の内容は、介護給付に要する経費を増額するもの。また、給付実績の確定に伴う返還金。

歳入補正は国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、繰入金及び繰越金。

○令和4年度田原本町下水道事業会計補正予算（第1号）（全員賛成）

収益的支出の補正予算額は、390万6000円の増額、資本的支出

の補正予算額は300万8000円の増額で、内容はともに職員人件費。

○田原本町駐車場条例（賛成多数）

再開発ビルに合わせ整備する田原本駅前南自動車駐車場及び田原本駅前自動車待機場の設置及び管理に関する条例を制定するもの。

○田原本町こどもはぐくみ・交流センターの設置及び管理に関する条例（全員賛成）

田原本駅南地区第一種市街地再開発ビルの2階に整備する、子育て支援と多世代間の交流を目的とした施設の設置及び管理に関する条例を制定するもの。

○田原本町附属機関に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）

田原本町就学指導委員会の名称変更等の改正を行うもの。

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（賛成多数）

一般職の職員のうち、30歳台半ばまでの職員が在職する号給について4月1日に遡及して給料表を平均0・3%引き上げる、勤勉手当支給率を年間0・1月分引き上げ、議員期末手当支給率を年間0・05月分引き上げる等の改正を行うもの。

○田原本町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例（全員賛成）

子ども医療費助成の対象となる子



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

植田 昌孝 議長

今期定例会では、駅前再開発ビルに関係する議案2件を含む21件の議案、意見書4件を審議しました。町議会議員選挙後、1年が経過いたしました。議会として「議会の活性化」の実現に向けて取り組みを進めておりますが、新任議員の皆様も積極的に発言していただき、活発な議論が行われています。今期定例会から副議長も一般質問が行えるよう運用を見直し、10名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。また、本会議に加え委員会でも傍聴者があり、「開かれた議会」の実現に向け取り組みを継続してまいります。

古立 憲昭 議員

激しい痛みなどを伴う帯状疱疹。加齢とともに発症リスクが高まり中高年に多い。予防はワクチン接種、しかし全額負担。そこで「帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接

どもの年齢を「15歳に達する日以後

の最初の3月31日まで」から「18歳に達する日以後の最初の3月31日まで」に拡大する等の改正を行うもの。

○指定管理者の指定について（全員賛成）

老人福祉センターの指定管理者に、株式会社ビケンテクノ（大阪府吹田市）を指定し、指定の期間を令和5年4月1日から令和8年3月31日までとするもの。

○指定管理者の指定について（全員賛成）

田原本駅前広場の指定管理者に、一般社団法人田原本まちづくり観光振興機構（田原本町）を指定し、指定の期間を令和5年4月1日から令和10年3月31日までとするもの。

○指定管理者の指定について（賛成多数）

道の駅レスティ唐古・鍵及び唐古・鍵遺跡史跡公園の指定管理者に、唐古・鍵にぎわいづくりパートナーズ（※）を指定し、指定の期間を令和5年4月1日から令和10年3月31日までとするもの。

※奈良交通株式会社、京阪園芸株式会社、近鉄造園土木株式会社の3者による共同事業体

○和解について（全員賛成）

公用車での事故に関し、損害賠償金等の事項について相手方と和解を

するもの。

《同意した人事案件》

○公平委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて

氏名 梅野満雄氏

任期 令和4年12月21日から

令和8年12月20日

○固定資産評価審査委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて

氏名 東口 豪氏

任期 令和4年12月25日から

令和7年12月24日

《選挙した人事案件》

○選挙管理委員会の委員及び同補充員の選挙について

▼選挙管理委員会の委員

氏名 川嶋 均氏、西 秀文氏

澤田晴夫氏、小林祥孝氏

▼選挙管理委員会の委員補充員

氏名 榊井宏之氏、勝田博明氏、安田章男氏、取田弘之氏（補充順位順）

任期 委員・補充員ともに令和4年12月25日から令和8年12月24日

《総務文教委員会審査の状況》

質問 令和4年度田原本町一般会計補正予算（第10号）について、専門業者による小中学校のトイレ清掃の実施予定日と清掃方法の検討は。

回答 早急に入札を行い、3月末までに実施したいと考えている。また、一定レベル以上の清掃をしていただけけるよう、他市町村の事例も参考に仕様書を検討したい。

質問 園児の送迎車の安全装置の設置時期と現在の対策は。

回答 できるだけ早い時期に設置したい。運転手と添乗員の2名が乗車しており、降りる時の人数確認と座席の消毒の際にも確認している。

《厚生建設委員会審査の状況》

質問 田原本町こどもはぐくみ・交流センターの設置及び管理に関する条例について、交流ひろばの喫茶コーナーは誰でも利用できるのか。

回答 幅広い世代の方との交流を目的としており、誰でも気軽にご利用いただければと考えている。

質問 指定管理者の指定（老人福祉センター）について、利用者に対する新しいサービスはどのような提案があったか。

回答 新たなサービスとして、障害者支援施設と連携した障害者就労支援、小中学校等と連携した世代間交流事業、ホームページの開設等が提案されている。



種化を求める」意見書を提出、全員賛成で採択。一般質問、国の交付金「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援」について、本町の交付額7986万9千円をどの様に活用されたか、特に生活者支援について問う。出産・子育て応援について、国は伴走型相談・経済的支援に力を入れている、本町で安心して産み育てるために今以上の対応が必要とされる、どの様に支援されるかを問う。

西川 六男 議員

東小・北小・田小の統合で最有力候補の田小案では、①集まる児童725人に対して、必要な運動場面積は7200㎡。それを3435㎡と積算するという委託業者・トーマツの基本的ミスがあり、運動場が確保できるか疑問。②校舎や運動場の面積の確保を優先する為、狭いので今の様なプールは作れない。③校地に十文字の水路があり、建設に制約がある。④仮校舎建設や埋蔵文化財調査の為、2年ほど開校が遅れる。⑤工事中は学校で給食が作れない等の問題があり、別に新しく必要な土地を確保し学校を建てるべきであると主張しました。

竹邑 利文 議員

事業評価について質した。外部有

識者等からなる委員会に諮りこれまでの評価を行い、アンケートによる町民ニーズへの対応を踏まえて策定している。今後の取り組みべき方向性を明確にしたうえで、具体的な事務事業や指標について「実施計画」を定め目標の達成に向かっていく。無作為抽出による住民協議会を立ち上げ、町民のご意見を捉える場として町民ニーズに沿った施策を進める。税の有効的な政策施行に反映しているか、税の無駄使いにならないように町民の意見をしっかりと反映するよう「財源確保」を求めた。

吉田 容工 議員

Jリーグのスタジアム標準に「住宅地域に近接する地域にスタジアムを建設することは極力避けるべきです。」と明記されています。交通量の増加、サポーターの喧騒、イベントの騒音、照明による光害などがあげられています。そこで、何故駐車場を作らないのか？住民の理解を得たのか？質しました。住民説明会は今後検討する。駐車場は今後の利用数に合わせて考えたい。これではサッカーのサポーターで大渋滞が発生します。サッカーの試合をご存じない方が進めると住民に大きな迷惑が掛かります。

ただくことで、積極的にイベント等を開催し、町の玄関口である田原本駅前が賑やかにになり、町の活性化に繋がるよう求めました。

持田 尚顕 議員
もちだ なおあき

東幼稚園跡を活用し、令和6年4月までの早い時期の開園を目指して、新たに認可保育所として整備・運営を行う事業者を募集していました。プロポーザル方式で事業者の選定を行い、受託事業候補者を決定していましたが、その後受託事業候補者が、予算の調整や保育事業の継続が難しいとの理由で辞退したことから事業者の決定ができない状況となったこと、また再募集については、未定であるとの報告を受けました。待機児童の解消を目的としており、再募集を早い時期に行うよう対応を求めました。

梅谷 裕規 議員
うめたに ゆうき

今回議会での一般質問は①令和5年度予算編成方針②東小、北小、田原本小の統合スケジュール③田原本小学校のトイレのリフォーム④町内小学校の特別支援教育充実です。②について、3小学校統合校建設地を今年度中に決定すると明確な答弁がありました。③について、学校トイレは老朽化で暗い、汚い、臭い状況

です。建て替え計画があり大規模な改修は無理ですが、在校生の生活の質向上のため実態を訴え改善交渉した結果、今年度中に小中学校のトイレを業者清掃することになりました。

平田 昌隆 議員
ひらた まさたか

一般質問を2点行いました。1点目は、防災・減災の観点から緊急時におけるAEDの適正配置に関する重要性について訴え、並びに使用方法について関係者への教育・訓練の実施について質問しました。結果としては重要性のさらなる認識と、緊急時に使用できるよう準備体制を整えているとの回答を得ました。2点目は、マイナンバーカードの登録進捗状況について、カード普及と消費喚起の観点から、更なる推進が必要と訴え質問しました。いずれも、前向きな答弁を得ることができ、有意義な定例会となりました。

藤井 誠人 議員
ふじい まこと

一般質問2点①教育DXについて子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けた取組を質す。日々の連絡をもっと簡単に、学校の先生や児童生徒、保護者の皆様が欠席連絡のデジタル化など、スマートに繋がることで業務の負担軽減、安心安全な

学校生活を実現できるよう提案。「導入を予定する」と答弁を得た。

②医療的ケア児への支援について救急サマリーMEISの周知等を質す。県と同様周知出来ない所を取組むと答弁。ケア児へは出生時から、切れ目ない支援で心を寄せていくと温かい答弁を得ました。

梶木 裕文 議員
かじき ひろふみ

一般質問①災害時の安否確認について②公共施設BGMの導入について③デジタルサイネージの活用について④旧清掃工場跡地について質問。災害発生時の「初動対応の遅れ」による課題解決策として安否確認アプリの重要性について、行政の情報発信の課題であるこれまで届けられなかった層を含め「多くの人へ」「プッシュ型で」「視覚的にわかりやすく」「タイムリーに」届けるためデジタルサイネージの拡充を求めました。議会改革特別委員会では、女性の声を行政に反映させる取り組みとして女性議会の開催を提案いたしました。

村上 清司 議員
むらかみ きよし

食品資源循環事業は、モデル地区内192世帯と学校給食の食品残渣を堆肥に変えることで、約23トンの可燃ごみの削減、家庭でのごみ袋の使用量が減ったとの効果があり、その

他の事業を含め、やまとクリンパークへの可燃ごみ搬入量が10月末で前年度比約118トンの減量ができた。観光振興は道の駅・史跡公園を一体的に運営し、それぞれの強みを活かした集客に取り組み、「食」を新たな観光資源とする取り組みを進める。中小企業支援は、事業融資資金の利子補給、保証協会の保証料の補給を実施との事でありました。

安田 喜代一 議員
やすだ きよかず

本町の人口減少、児童数の減少から、東小・北小・田小の3校統合に向けた基本構想の作成が町で進められております。議会でも町小中学校施設再配置検討特別委員会が設置され、よりよい学校が出来るよう議論を重ねております。12月時点では田小での建て替え案が有力に進められております。本町の未来にかかわる重要な事業であります。まだまだ住民の皆様への説明が不足していると感じており、保護者等学校関係者だけでなく、地域の皆様にも広く納得していただけるよう説明を丁寧に、事業を進めるよう求めました。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、3月上旬に開催(予定)します。

☎ 議会事務局 ☎ 34・2119